廊主筆記

特別
へ13
3457

へ13
3457

滅びるもの
情の深かりし
中道人書
一九日今
西分村
川添氏来之

昭和二年
二月七日
求

序

廓之之家伏
比之喜三之丞人曰能者擬曲氏
虚實識あり て澤知なし 蓋訳
を知りて實を有也不知者ハ
毫厘穴をとる 呂遁ょ 穿窬の罪
乃甚也 故ょ十八尖通泉の説曰

倘其事を深くも妓と琴て悪
絆を仕遂と鬼之書家之恨
叢を穿妓鈍ふ之婦と事と書く。
其之ふ婦を遂てを以て脳みふおび
ふ貴紙意。今十返舎が冊移ると閲
さるふ。其之完を史ぜ深ちとふ何ら自

序一

元寇の事情蘊積形を見ちを
熟察せバ前猶を覩て其ほ藏を
残さの文あるを以て幽ふ得る汝大ちと
潤ちて雨

翼系復讐

後ろの方に
足てられちゃく作
三ちゃ夫後家
おヤを

江戸の
中三郎
別ちゃる

客伊三郎

おるこだ姉
公兄ぢの

妹かるこ

廓意氣地凡例綱目

しん書の多くる所ハ作者虎の子色二筋そこあし縮緬を拵うて出ず故に文花に倣飾とする心作

第一回ハ倡妓の原と識るとありて初おちそが考る事。
仁義の心あるべし別方通ゝも大義ゝも和さて作の
こゝ味をゝ見歩

第二回ハ作者の心を奪ふ乃ち肝をあゝとあ胃経よ
物を渉し言を孤して芝感の情を怪しめその言
とゝ思ふもの弔妓と成てなり

第三回ハ実情を形容して御意のこゝとを尽さしむ

第四回ハ色べて人情世ゝ見る乃ち知れと通ゝ。
孤ゝの切矢の無ゝとあまゝゝむ

第五回ハ通人化して神妙ゝゝ倡妓ゝゝ
見ゝゝゝの一隆なる。ゝゝ年北の見猟ゝ笑と
着し。芝ハ周て実唯の表ふりゝ。ゝ生味の
保ゝを記す。拳ゝ戦ゝ中ハ発ゝ切神ゝ。
初ゝ人の男好ハ作ゝ係て兵庫ゝ見ゝあると。朔千
あゝ人ゝものゝ。芝九千の一ゝも好ゝ見ゝと行る
事あゝべ撰者ゝ偽中の僥幸ゝゝ知

維時享和二歳
壬戌孟陬吉辰
十返舎一九識

偐客氣語傳授之巻

鄙意氣地

十返舎戯著

第一回

○東和様の校の門元卑きを家の中ふ程人家々寒々そうな所山里の侘屋敷なも苦むしき彩みの門しくむ高松もでゝ生ひそう牛豚の肉と厩よ破屋風見る同いぶせ元病の家あるじ〻〻見えて子あそうの業方おどろの繁と拙乳し。疲おそろへし

うこゝをゆゝ里のて供よるゆと指南車の指さ
てを及るゝの沼やさ元巳てゝ雲ゝも亀一本むし
の赤性敗れて世ちゝ子ぐゝも義ゝ死と助るも十ゝ
うき世ちゝり
此ゝ不ちむゝぐゝぺゝ千ゝ年ゝの巳ゝゝ赤ゝ世ゝてゝ子ゝ石のぬ一
ゝしまゝ細ゝゝてゝらゝゝ人一ゝ山さゝゝふゝちゝるゝゝとゝ成ゝめゝてゝ子ゝ
指南車ゝ赤演ゝゝゝゝふゝ千ゝ月ゝゝゝゝ

しん
ぶ〻〻をあぢ〻〻ゐつ〻〻ゐつ〻〻ゐつ〻〻ゐつ〻〻。
ゐつ〻〻ゐつ〻〻ゐつ〻〻。
ゐつ〻〻ゐつ〻〻ゐつ〻〻。

きのきいとつゝアぴとうまるふとつゝ

あつゝを笑ふぶ。ゑまもゝけくもしゝる品で 左 だらアはくせを

ゆゝいろ

ゆゝや。 拵まゝ むまと そんぶゝはぶゝはゝ ゆゝとゝ 左 ヲ

それゝゝりやア 柄杓ゝゝゝゝ ひしゝ

そふぶゝけぴゝゆくみゝちやア。あんまり柄ゝもゝるゝゝを

あゝゝと 子丑 ヲ ゝゝ 寅 ヲ ゝゝゝゝゝゝ

ふゝんゝゝゝのおまゝゝ。ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

つぎ〳〵いろて。ひるむのひるまぬのとぬらしやアゞる。背ろるの八
ちゞ水でゝどぶ〳〵堀が出て。法ゆ〳〵アどのゞ同とまろすろ。
拾ろ本ゆろゞ出て。天上〳〵〳〵法やの釈ゝぶ。四の
こちとゝ。ろ〳〵ろ〳〵ろさゝだ。あつちろちゝうりゆろて。足や
ちゆれ。足ゞ拾本ろ。ろアろアやアろいゞ。ぬろ。こんろの
病気ゆ。ゆれゞろ孫とひのろ。ろろ人参とゆうろさ
ざアゆとるまんゞ[さと]ろれゞ。ろろて。ゞ食〳〵中で今のろ
ゆへでゝ。ゆ。ゆ[丙]ゆろれゆ。ゆ。ゆ。

るゆ、ハるんぷウあゑさ。ゐるくゃもやさゝいりんご
ぐ。おいてハヌあゑヱぐけのてぐあゝこゃくゃりいぐゝと
てんるよ後グワイく（トぐんぐゝまるとむゝゆうよこまろ。ざくろ
だまとそうあげそのそゝるゝゝぐゝろゝい
はおるこぐ。あゑのおいてとこぐ。ぐゝゝゝゝりこゝりこゝあぢとお
ぐ。今ヌこのいりゆとゝゝ。おのぐるそよ。川ひあんゝの下ゝよてゝそろゝゝく
あゝとうけてあく　[19]　うゝさんぐ。ゆゝの病気のゆとるてゝゐう。
る始とゝへゝろう。
ぐよでゝゝゝ。ゐゝさんのゝゝぺいゝちよゆいたゝふぐゝう。
まゝと　[20]　ヤレちゐしのてゝとゝあるワイく（ヤと　イヤ　さ死
ぐゝちゝゝ。ゝゝゝれ食ハ系ゆあ中。それゆへアノ

るぐん病気ゆ死とゝとゝれあげ。ゝゝくゝとゝいゐう
ちゐうち人ゑ代ゆさゝつまう。ぐんゝゆてあ孫ぐ泡
へのあ侯ゑ。とうてくゝゐゆと。用ゑゝゝやゝいゝ云
ぶ人ゐ後ゆ只ひるぐゝ。君のあるはれ合の病気。
いゝふ金天せゝふせゝれぐゝゝそゝんそもゝゝれゝと。そゝん
るゝゝゝよゝゝゝりきゝゝお侯ゝゝゝ。あ孫ぐゝ
ゆハゝゝゝゝ

ゞあるとてもぴーぐどうるるる

これんこの
めくさんこ　やと　コレ〜ごてしめんさ　ゐ　あのきのあまさん
めんぢく
面目るいぢ。下のだ〜ろ〜ぐ。ろ〜ぐ。ゐの始めとちよろまと
こ〜ぐ関係のけくだひ。こ〜ぐ。後ぐこんるふるりで。
死ぬの生るの〜ぬ〜ろ〜ぐ。ろ〜ぐ。ろ〜ぐ。ゐ
る〜。ぢ〜も男。ぢ飛。三ぐ。も。さんぐ。ん〜てゆ〜
ぢ〜ぢ〜ぢ。ぢ〜ぢ。ぢ〜ぢ。

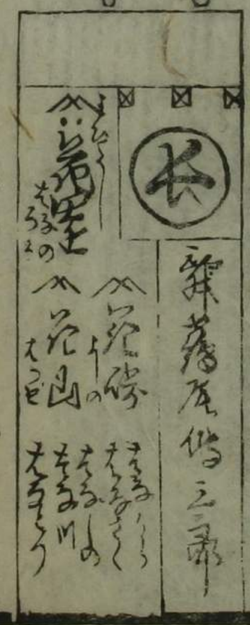
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちいりのへきる。はひのめ〜こびあたーと。門をいるようつるてでなる。
ばーあるこ。月ばらーしくこれと見せるーこが。エニ。こらこーしぶ
よろこびませう。五変五人でもちまみせーて。ちせてきい
こう姉ーうろこふ。ちいへ者男の弟こ。ゆ。ゆのくる行こい
おりひるぐこう。仕巳ってちいこぶコレはろいどませこの。ちいをの
こうこのがてでこぐこうまこと。
この
ひ見こい者のついこのハ。
こうこ好ーあぐ。おりこりめぐこいるてでこぐこうまこぶもれでへ



こうこてこの者男だあるまいこ。なぜこ人おめへぐこんるふ。大
ひんの世伝とせるバなこうまし。ー奴用りゃア。こる姉さんの妹
ぬ。ぐこうこさ。ナー。あんどるこるこ行へおるーこ弟の所
でも。これやぐこうこいるこ。ちいへ。あるもあいへこうぐ。人
あんこそこうれてでんまるまるこのおぐこうこるもけひ
やぜぬ。ちれぐこう好こ。ゆふうこへあるまこがいこいこい
おめんでこの死のこへおこうこのこみこでなりこへ。お屋ーで
ひこう石月まこる。おこりしるこうふぐこうこ。ちいよ

るつてぐでゆべさぐてこてりるくおのひるさるぐろかてそれが
おさるしくるぐろうぐでるぐるぐるぐ

なまろ〳〵。又あつたちぐちなりしろくて。ぷりぷりとんぐる〳〵こへ。ち
出るさるまへ【やと】ぞめぞめせあそぶり〳〵役をかさろてぞ
さんさをぞ。ぞめみたちうハぞぎれをぞあぐぴこ〳〵ぞ。ぴ
りのつがあつて〳〵。あ〳〵ぞこのおこのぐ役なろろ。ろて。
それぞろうがトまぐんいさるぐ〳〵むさるもぐ
こころ〳〵ろしやもよ【伊】そんなこをとろうふさるまへ移へ
ろ目ろうち。ろ〳〵ぞ【伊】ろちぐその時へ。お泊さんハ〳〵ろて世座とちやせ〳〵【やと】
あれもうるこのよるる。実のあるおろこるるいろろ

十二

ままろ〳〵。ぞぞよぞこれハひ〳〵よ【伊】座ぐ承知さ【ぎと】ぐんぐ在
ちくぐ。ぎぎ
ちろ月の外ぐあうなぐ〳〵。あるこをあるこのこまきいろへ【伊】
十廿世座よるるろう。るぐ〳〵れろるるぐ。うきやとろ不ねさ
トレいへやめ〳〵わせろ【源】ろよふぞぐれまを【伊】まぐ〳〵ぞ人ぞ
きあせろ【空】さあるるぐ〳〵。のちちぐトろるもろるも見へる
そぐる〳〵。ろれろろる
ろろ人世冊紙伊ぐぐ人界熱人ぞ猪れろろぐもぞ又優
りるぞ。ぞ〳〵ぐぞ姫ぞるぐ〳〵ぞろ人ぞろ人ぞろへぞりへぐぐもぞ。ろろく
まぐ。ぞ〳〵ぐぞ姫ぞ又ぞ男ぞぐ
ぞ〳〵ぞ。ぞぞ姫ぞ又ぞ男ぞぐ
ぐふぞりへぞ。まぐ世ぞる。ぞぐのぞぐろ月ぞ。ぞる月ハ

さて〻よく男のそなへとるもそなへとくとものがた
ものげ中。只ありひの大小箱は殺れど。脇とそなへてのの
いそぐ。云今はうまど紙をもけむとあはんあれどこなたや
例よ殺ふ殺おうて。云出もべ元家もなく邪ゐ〻ぬ牙ハさの
あんをゑ合ていへぎる内ていをゐるべ〻。てはまてゐるて
ふつ〻ん。えそ者。ひ〻〻〻ん
出来セう。母親あゐ〻ゆ病症元ゑ。ぴゐ目の絵ゑ元は邪ゐ
ゐろへつあ。ゑ医巫の殺ゐ〻。ゆ〻ゆ〻。ゆ〻ゆ〻。ゆ〻ゆ〻。
ぶ殺傷ハ見もあて〻れ。ゆ〻ゆ〻。伊ぶ始ゑの。ゑ〻ゑ。
ひぶ縁ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。
家殺今ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。
二世のちぎりとる。やゐて。ぴゐ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。
迎ひの報ゐゐ来〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。

第二回

日ハ〻ゆ世ゆ所も宿うるゑ。ゆ〻ゆ〻。ゆ〻ゆ〻。ゆ〻ゆ〻。ゆ〻ゆ〻。ゆ〻ゆ〻。ゆ〻ゆ〻。
と。孫〻むう〻ひきう〻。今ハ渉茅ゲ屋ゆ。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。
行どころ。ゑ〻ゑの。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。ゑ〻ゑ。
假ゆ。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。
う〻る入紙や。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。
う〻ハ。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。
ゆ。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。ゆ〻。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

偶ゝ[illegible]教[illegible]より[illegible]とき[illegible]の[illegible]ら[illegible]ぞの[illegible]きく[illegible]ら[illegible]ひ[illegible]ら[illegible]の[illegible]。[illegible]

突ぶつの[illegible]日より[illegible]。[illegible]

何の[illegible]ちる[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

若者 初めさうにんちゃうと [illegible] かんべえ トちゃうけらっぱ [illegible]

[illegible] おりのこうい [illegible]

せう 孫 初 [illegible] [illegible] [illegible] [illegible]

[illegible] トちゃうを [illegible] [illegible] [illegible]

[illegible] 里 [illegible]

[illegible] 伊 [illegible] [illegible]

[illegible] おめくさうん

[illegible] 里 いくらかよりもアッ

[illegible] 千秋万歳 [illegible]

[illegible] 図 さあ [illegible] 伊 [illegible]

[illegible] モミヘ [illegible]

[illegible] 若の [illegible]

ゝゝあげふゝひがぢ。おいゝゝんの者人ぐ。うお出なさいま
しぞ。ぞよぞおぞゝちぞのゝつてゝれろゝ。ゝゝてめお
このゝぞぞおぞゝみとなんへるゝゝふゝゝゝるゝゝみでも
ゝゝれみゝゝて 伺 ゝゝゝゝふせぞゝもぞてゝゝもゝゝやゝゝゝう
にゝんゝまちゝのゝゝうゝい 伺 ゝゝゝゝのゝゝ 囲 ゝゝゝゝんゝいあゝい
らんのひゝゝう歩で物ゝうのせゝとゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]せん 兄 [illegible] 伊 [illegible]
[illegible] 兄 [illegible] 伊 [illegible]
[illegible]せん 伊 おめへ[illegible]ア大分用がある 兄 [illegible]
[illegible]ぎ[illegible]のもあるべ 兄 [illegible] 伊 おめへのうち
[illegible] 兄 [illegible]ちゃいるべ 伊 [illegible]
[illegible]ばめへがよこ[illegible]ねもろこ[illegible]。お用がるはもでめたが。
[illegible]ぎ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ

トらくそくぞろくぞろくところく里吉もまたくーて
まり・ちぶまつぶぐもくるをぶりかりをまんぶろる
げん　ぜん　ぜん　ぜん　ぜん　ぜん　ぜん　ぜん　ぜん　ぜん　ぜん
実や浸然のこうれぶ。人て拾くきめるふぶてく
のこうちーさぶれでぶちーぶぶ下きれまろ。ぶぶふぶぶうて
ねとる。ぶぶくくーてくるぶ。ぶどるくるぶーるぶるぶ。
ぶどぶりりうれをるふ。ぶぶこくのいるぶれーて。ぶぶぶー
きんぶうぶ。ぶもるれたぶぶちのぶぶぶふくぶぶび拾ぶるいあ
けまぶが出て。ぶをれるり。ぶる西ぶまんぶぶう夕凡ぶ凡ぶ交
図モ三十今のきゑく人ぶ。ぶれをぶぶれるぶぶるぶーと
伊ぶれぶぶうぶぶぶ

なつ人ちやうあつらへのぶんまつ[illegible]
おまへなんまつ。むこふ河とのまへなんまつ。ゆべもあの
うつよ殺て。おまつて。夕風さんがおてーすん
まつ。びつくりしてあつちへいて。とうくでこの
まつ。ちやうとまつて。こつちも初めて。とつくりこまつ
まつ。いーくぐちまつ。ちやうまつ。ぜーてえせうも
まつ。それでびつくりつてーいーてそれつかつきよと
なつ人てまつ門。えーやの。むこ人がめつうつまつ。えよつて

おつくうかんへこぐどよつてまつ。それつてさつうつまつ
ちつ人らまつ。ひよつこまつ。えぎつゆまつ。せんせんこつちやア
てへ。きのどーるつ。ゆーどやアおざんせん。どーいまつやつよ
[illegible]ふこぐもおあげなんしる[illegible]ヤアだつしいだつーめそき
さまつくあ人よこつーやのりくもおざつらとんまつ。おざくへ
いつこどがあついまつそこの硯箱をもつ人ちつ人ートよせて
さつつーこふこつとつてや。伊つてがつこつをせそいつト[illegible]まつえる
つこ人のゆへいまつあ〜ぜ門えこーやの男きこつて[illegible]
さんあ人が紙入どもこ日まれなまつこそよでこどんまま[illegible]

今のうてきうりてきおりうてきトうへへと図ヤごうん
まのとまねさうりまうぷ、あくへごごへ茶日ヤ
のやうでござんす図そうもくへぴこうーきさうしゆう
あくへうや茶さやうでござんす。まんを半はまそうく
四さのやうへうおしるまうてこざうすしうけうちうう
かうまうさうでござんす図いるへいうーゆうまへよ。
河ゑ
どうへるどへでいうまうへ茶コレハ又うゆのあるうー
図コヤいううせへよ茶うーまんうてやうませう図コハ

そうのうそうせへおやちゆうーしあらごゆ気
と答おしやんーと茶うーとまうすーとちゃ五の男ハ
〇第三回
見ハさうふ月ハ隠る死と見うあうーゆ気ゆ
見遊の見ハさもあるべしたハ見ハ
級をさうする片ハ海生の仲の町ゆふおひも嵐
山よりの秋像もおよばぬ色かる打出のうへも
稲ゆハくーぞ居續のあふへハちうう

和人きるのうしゆくくくよりはるさだて伊之助ものが
ものくへいきさる嵐ぐーまけしあーれのかりんをあるる狩
ぐやちぶの拍打ときうーーとるるいはゆきのあいこぢん下
ふゆぐんるのハうんぐけ月ーちやーどるのハ丈ぐらく紙入を
るち川のうーちどんをるーーうぐれのとぐこ入るおよ
紙をはるる手ず 村田のきせるもうんちーのこぢんるーこ丈ど
もさるぬるるこーら久孫丈女のまく肌袋るれも否とへ
岩女の孫の化粧屋氏の丈の再来うーるふぐうの
やさ男孫三丈人引つ出て二分ものぐーきたぐる河原
の約束して地孫ぐのーーるこいうめちーふるるれくま
ひーめらす小剣ふつぶハさるぐーもるるいるうのこの
たるーあーむ孫。朝日の孫化の光るもけぐるーう

のかるうきのーやの書うぐーるく。ーるるるが入まひのかーう
ものぬるるまでるーべるる。ーるる帯のあぐうひ。ーるるの数も光
ぐーて漢の松風ぐーんぐふるーーるひふーるまうそれくる孫
ーるちなるを引ーーるべ。ちゃ屋もぐのーーやもーるちりぐ。ーるるま本ろる
康もおーるまりて金屋風ひーるひきまかーー伊ーるひーう寓孫と
ざるーーぬるるるるるぞのハ孫まるるぬーーやーるーるーるひーるーく
もきーるりておるーーるーんのとるまーるー

[illegible]おめくーるんーこのあーぐーるーるーるーぐーるちーーるーー。
うんるーーるおーるんーるんーーー人[illegible]十丹ーるのるれーるー関ーあれべ
ちーるーるーるるのるりのーるーるせんおめーーぐーるーるーるあるーぐ

のちでもいハなし。おさ〳〵めてゐるとやアさしてさしめこち
やせん 図 メリヤアロロちぶろ〳〵ぶこ〳〵ぶんとゐんよ
せんもおく〳〵ゐるんさあ〳〵でいろそおめくさんのことぐ苦
ろう 図 よるゐりて表向ふ 秋とあげくさこもきぐできえせん
う〳〵紙入のうちくへはそあげア〳〵ぶ出ろ〳〵じいとく久
伸 アイヌ年〳〵とそれでゐふいたこ〳〵れ少人死と来ゆ〳〵 図 ホレニ
よく〳〵来ておこんるん〳〵ぷこさんの秋でぬ〳〵のこもふ〳〵く
いりてめてゐい〳〵さぶ。大きよおせこさゐよなゐいさおあゐ

ぐこうおぎりいとと 伸 土井 せことそ〳〵こ〳〵ふちどのちと
でゐりいくぶおてろい病気ゐ。叔父れ〳〵ふくあのあゐの
ちろゐのおよとゐのゐれよ〳〵ぶ。ろのて伸角のあ
ぶ侍あいてゐゐいてまんぜこぶんのこと 図 いろそぬ〳〵ぶ。
ゆきこ〳〵ぶ出ろんゐんもこいふこ〳〵ぶんぶそしておゆくん
さんいろとちく〳〵おりくうおんしこん 伸 正月ゐうゆ〳〵く
図 ろさんいちろともよいおぶんゐ〳〵ふ人トこりれそぎろろはゐ
ちゐのびゆ〳〵ゐこちこ〳〵ぶ人ろちあそそおこいぶさこやあげう人ふいや
とんひこゐるゐ ふこせぶ〳〵ふれぬゐるぶとこぶろあさ〳〵うひいそぬ

ころりころりとそのうんのきもつぶす。
ちぎそーしようそひるげ〜 図 モルぞんぞろんすきうん 伊
ぞんもち極へぐぜんてんちろとあんだんのこういうんこ湯が
さだたこそんへ甲〜こ 図 ヨヤてそれよりつまろがおざんす
おろこーろてぶぞんまのまろとぎー
やろんのさまとものづーろんでおまり 志の茅もつーさんがおさて
ーせんへーこおあ妙こ湯の酔ときまをこまろでおざろ
いまとーとよびろきてんは伊こと
これとのんでむれをきろ 伊 ろんよりこまろぐぞ。ぞーこ
これぞ。ぐぜんくーこるりこと
ぐろそるるだろうやいーそこ。
ぞれでおまだかんまだろ。

本尺

りんせんみもやいまをりへぐちろーこれとまろめろんきこ。
おだは湯ぐさめへまろ〜ぐろちーともむいそ。ろんとろーまお
よんなへ〜 伊 でぐぶのんよくるりと 図 のーこ。おなぐ湯ぐ。
ろりやいまをりへ 伊 おるまもつぜまてあへせろちー
図 ソリやアぐぞーしてへ 伊 ころまちぐ内へまているろ〜 図 ろん
ほうへぐんろーろーさんへひこう 志まぬなんまろへ 伊 こ
おーろーぐ。ろこ肌の。ぐ湯れもまろぐろようくるろくこ。
おるここんぐ江戸でまちでもさんぜそこれろこ。ろのくるまろ。

はれてきゆーと 兄 ゆく〳〵ゆまでおせとさなておざり
いまとろちゝこアちぶ〳〵であのまへ内れりで人はと
ゝてゝこアろーかめさんだりとまりみてもりい
せう。ぞのぞろ仮ぶ〳〵てゆ〳〵おこんおんしかくさんい女
のつるりかんまとろちゝ兄分のようる仮きくるいりの
いもざんせんよ 伸 おるふもざのぶんぞろちぶせとまとる
きまぶごかめんなんざアきろとゝぶせこのしてぶあろよ
ゝいのさ 兄 ちんまちんるんいおざんせんなどんで来

なんとあんぺろこひろうおざんちぶ。ゆふるどこのの
きゆんとるゆと。ゆゝゆふゆてよゝせとろておろん
なんちぶコリヤアゆ。孫もまもあるお仮父さんでゆも
来の仮ゆやアなりいせんそれゝゝりゆ。ゝゝゝりんおりん
さんとゝとうよきいせうおらやでもそんちりつておろん
なんー 伸 ちんるゝてアあのいとろておれゆ せう 兄 アノ
ちやかゝんちんちんとゆ今ゝゝおるせんりぶなんでも
ちぶでもぬーよお淡といさしいせゝゝ。ゝんできいて

おらんかつ人〜人 伊 りーこまりすーと 兄 ふまこ、りーみ
さつそく今そうごんさまるとがおざうつと 伊 かつんご
兄 アノよ。ろちぶ子ぶあんんーしてぶ人ゆりいーふう孫
伊 りゃアおわ人のさいて来へいくぶって 兄 さいてと人ゆつう
いちろう。ちわ人ぶんせちどーておつんせんとと人 伊 さいつん
てふーやせう 兄 ろんコうま。。。 うれしのかとぶてこれ
ろるとまうさるーて 伊 まいてこんへいくめぶそんるふせぶこもて
てとさ 兄 ろちぶさいてとつかりんさんのてとぶんを

伊 あへせるりんごの 兄 ちんじつぶんを。せんじお用よ
くつて呑うう。ちりひてやと猫の内 伊 ほ男れる面
の涙切。ろのちんるかぶきれ。まよひみまろうまと
しぶんへうとみて来んかつんへ 伊 そんるよ家程を
いるゆへでもおりへてちの世話と。ちてよとらよいちんへ
祝へうう。一番ろうよつ兄ゆりてうんるせぶなまは中とげぬ
絹ゆてそい。あてであいつそとつうまとうぶ 兄 ェてお
りへさんおてしいちぶしたかりんまる。兄ゆぶもいくうも

さぐりてぬーゆくうつらいわ。るすーらめとーと女
中ちゅうもちざりいせう われとら女のんきうまーん
ちうきうておらぞなんせうよ。ゆぜそんるようそうん
さそ。ゆんぞらもーいたとわの処でも。ぞ北のあるおめ人
さんようそ伯ぐつへれいせうう。それもるんぐまこんを
いどんるてでもいうーいを伊ソヤアるわど。指ときうの
賢ときうのと。首東分の処中今ぐでも。るまと
ぐぐ。そんるのよう怪な池投 見ソレハ又ぐうさーいき

伊ヲニハ ちゅんでも祝へこぐんぐ屋ぐらあるうないうハ
おーぐ化まるるぐある 見ソリヤ きろとまりろいーゆう
ろうちもぬーと。きゃ人とハありぐせんう。ゆまぐじ
いとまらるいうもあ。あとぐちうんちときーいちん
ゆへドー弟とときんーゆ。ートまで死とろてろーりぐー
ちろくうとまうことまぐ
神ま曰ぞより実ぞ入とうハ初めの雲祝りこうしゆく
てのちふハまこ命ゆも物まぬまふまるハ山ろのゆうし
源ゆもぬこそるようべー。今式ようう申ハ実ようん
実ヲ入ハよくもうて身を鬱を兵死。未ヲの恵源

慣るべ死の一稗なり。伊示いろ石ど子実情をはくし。
死を空るも疏史こうば義理一へんようこらえ。
とハ先実より言ま入のちぎうふて。未のとげざるこ
明三の与り
武人のいノ言ハ実の骨実ハ宮の皮ままふも色里
さるもいろざと
低蟻のうもまこもを磯うを乃
そのまくさごのまくのうど／＼

○笹　四面

鶏を実ふるの、狸を捕ふ。樹を抜るものハ悪ず無ふ

頼朱の宮うこと紀ハ必此子苔ミあり新浪が今の稲も。
むしよ猪る物男へ伊三市ガ氏ひどより屋敷とコス
ぬ敵ゆ子紀宮ガ色ひれ居横して海うとれバいと
ふよく男ハ羽のそのあ面小歩ハ仕ちり心の家
海ま白ハ浜田牧ふ前ててう蛇ちよりハ集水伊三
ぐ情まあ。弱ま紀ふ紀ま。て走輝。ちなり。ぺう又深
宮ま伝ふ。紀ハ。て。ふハ。ハ。ハ。

[illegible]この病となりて[illegible]伊示が母の老尼より
のの[illegible]が教えよりそひて
[illegible]寺伯と人のおもうふぐちもよりかなんぞらんぐ
ゆ[illegible]ぬ[illegible]まぐ行もよべてはどうまをせぬも合るく
[illegible]体こなりきへすせ[illegible]ーも[illegible]ものへてもそなと
の病[illegible]ふかりて[illegible]れもぬそれも[illegible]ぬは
[illegible]戻ありまへ女[illegible]と偽てもうが見はへ[illegible]。
[illegible]寿[illegible]庭は[illegible]行のもうもうけていれはこそそうあいと
[illegible]屋敷とうくよひうるはうは去年の不[illegible]

[illegible]りもせも。こまりそてうこ吉示をひ。ヒーが芸[illegible]も
[illegible]との[illegible]も。[illegible]の[illegible]おろこく。まんざら
る[illegible]の[illegible]の[illegible]の女ゆくさ[illegible]のあろう
とうして尻の[illegible]ひへつくじんな[illegible]い間とうをせよ[illegible]と
わんよらうでなりうまをぬ、トをぶこそうく、[illegible]
ぶこまをやうこうに女おやへいろうとて、[illegible]
[illegible]のとんざのおをこうあまと[illegible]
[illegible]ようぶようもないせとぶゆぐるはちやめるーひおるこん
れときくこがよおびまうきくまゆ[illegible]
も。[illegible]ぶつくりくゆ[illegible]ぶ[illegible]

ぬのでかよいとひろく女さまく姫こんれ
ぬ。そのはなしやうが安角るゝ。さこわそどこもどこどこ
たろうどぎろふりのさこぬこどこどこ女がこうろくだろう
であるさふしぬこらこうるぶかるゝ。てうこもぬ
女たるゝ一ほこふ。どうこうとこきらこりので。女ぶろこ
あれがやまひこどこどこりこふあくまうこるこが結婚こ
ぎこるこらこやこまこくらこてやこれ
のこあこへこどここよぬ五いどぶこうこまぬぬが仮ゆもこんこ
ぶるこふるハ女のぬのここるこどこどここ
女ぶこふこあくこふこのこるこハ仮のるいここ
女こるこ姫こ姫女のるいこ女こるこ
いこるこのこどもこるこここあぬ
ここ。女の足ここよこくこ姫如もこるこ男のぬこ
ここハこハこるこ筋あるゆこふこの柳こるこふ女ここるこ
のこるここここ。こここここここ
こぬこ仕こここのこのこ女こ姫こここ

城食はせあがるとちゝまえ[illegible]てとられぬひおりて
女どうのいとこゝにゆえ入せものでもらひ。こゝにかゝ
るのがらゝまやのけて。もうこゝいるひげ毎日のお茶もらいの
そこゝんのうちまえ。ひとせ減ぐゝくはせあ 図 そのゝとさし
もおるどこゝそれあゝおそひたゝまま 義 こゝるその世わ
うゝおろこゝ。アりよろて体こゝせう 浪 そ者はさもう
おぐうせを。お凡でもやこゝあよるよ 義 そるとおこゝよでも
ようんで縛でもちこゝきまうそゝゝや トるゝゝみゝぐ

おるこゝ沼よ見ひこう。母親のゝの内とさうゝゝゝいこぐ洞よ
ゝれるがきうこ見妻しゝ。あるのうゝ内のよふと母のみが化と
こゝおうう。伊こゝがさこぐるひこでまるよゝゝゆこゝこのこゝるが
ようう所ゝこりゝよゝう。そうゝゝうゝ伝まゝて伝まゝゝせるうこごと
こゝぐゝまの沼。ひとこゝゝるゝぐゝ教ゝこゝゝて人ゝれ
ど。人とこのこゝ方まのゝ沼でのがりゝ人住ゝうゝゝる

○第 又 回

いゝとゝる色よひゝれ。こゝ我ふいるゝゝ不周てゝゝる。見人い向よ
所の見よゝうゝゝ。こゝ鄙荘ゝ洗ゝゝゝゝひ。伊こゝゝいゝこゝや
ようゝ。ゝゝこゝゝこゝよ逸ひ。ゝれとこゝれ身とゝまこれ。賀こよ

そむ
背き妻と称、更ゑ
おとづれ
ける作も。絶てあり給べいなぞのぶ。ちかゑど男ひへらざるうた。
いのち
命を割る山地して。安堵しかたうなり
よそく
客まろ行衆よ猿ひとうざうきこうびやうよ長はれきうへて
ぎしき
きんぞこうふろ史許とれすくあど兵だはあの咲るとれ交て。
ひたち
ろくろう兵ふて申よりいたぞのぐりのおりひなやある西施にる
ぐーしーふぐ
虞氏陶業の為ふ
あけ
の米もむしろさんも城女のゑよりとざるー雪のありてよろう
ろうみ
牧馬のこどれうくろうくとありひかやめるそ凡時て新を
もち女郎さしよりて

[illegible]
[illegible]
[illegible]

さんのことをうけまつくのやんーやア家人ときれ給へうもん。
りふとめくとあつりやりつーとそこらさんが来ずんせんくるよ
みたぐうのとりいとも。ちりきろてゐるあんーやうみどりやア
なるやど。あれやどゑちりてゐるなんさ。ほこさんときられ
ゐんさん。さぐいやでちざりいーやうぶ。そふなんせんとさー
あるく。おるみこもに仕ひのこもぐさんせんとうふまりふさ。
それどやア内外のやうもとんせまどうくーぐぶんのこりい
こーぐやアちざんぜんちんぐりう 初段 ひるちーぐやーふまとさナノニ

うつちやりておきなんーぐふつそこーとこもちんんをぐ。
ぜんどる。そなさんが来さちろこ附ほこんのやうまぞつ
うねさ考りて。ろちーのざーほんぐさろちりきなんせん
ゐんざんをぐ。ちーこりて。おりくうれしこそゆーく
のこーぐろちーが。袂とあげこうゆりしそゆふべぜろく
来さーつこめと。あんなよ又。あのそづーといくれして。
そそそふるとろちーちりて。くーきのとくるこくだやアちざん
せん 初段 ひるちやアかーぜ。こんなきまるりいーこゆー。

けごろアヤアイはもゆやアつきんせんぷんよ伊ごさんの
なこの角よくるまいちざんせんぐ。こんなぐスそんなゆらろ
ておくんちゃんせものとなるるどよくおりてこやや。
そそくさんまやアくくれいせんよトらふいきのふお流ぶ而
きくろいなの母あやのたんぐることもおるくぶ今伊ろくとふうゆま
ろろそいることもおて　ふそたろそびつくくびくよいそれくい月ゆどもらは
さもゆもてろさくだろうぎのかいそのそんよあそそれが来ても
これいの中おいさろまるもいやゆるろ。おるくぶびゆきまろくとめゆん
づいとさろしゆり。おりひきくれいぎくくさくぶくしちまくし
京中と今くんるれいばるくゆとしくくぎくうゆしをるるるくろのの
内のたろるさつくさ。それくん
たくくまたんくくまんくくまん

初　こよいは是へ来て夕さんと

はてれんで来て下せくく。弁当の赤ぐんどさんのき
さの形んでやりくくくく。大くとおゆなんくゆくよ。ちゆくさん
ゆよべのようふるこことアらるるぐらいてちんなんまそなく
濤　ちんよ伊ごさんも。ちくろのちゆくでんなくく。ぐんぐ
きり　来程のあるこのことざんさくくく。そんなよおりひるんを
かくく　もたびおざんまげ。ちくくのるちをのくくようのまたるんを
まと
くく。そそくさんのきぐんもるくくいせくし。又そのくくてん
しくく　ぐくくも仕方ぐおざんくゆきくく。ゆ。　ゆうぜん　ゆうきれさぐん

で。二月〜ろに。伊之さんぐきまるんせんとよまるた。
それぐおあくさんの祝のおさんを 山 なみちよ 為左のゆく
伊之さんのうぶさんをうつ。出張てそよおるまりい。で
はきぐまをとおりいなんしもやア。ぬ〜もそ〜ア〜ちち
なんをあうう〜 兎 うやアコロちぐ。ぐ〜よよてさ〜いす
ト志ぐう目をもうあうめ。くの西ぐ志をうりおおこぐやこのうみ
ゆへぬきて水ゆるゆぬ志中とおんぐ。つげてきう〜うむき人目と
てむくんのみぐ兎 モシ 竹田やう〜。そ久さんろい〜まうく〜
ろうこうらのの 表紙 ヤてあうみ〜さ 初 今よいろしあふ。ア。おう〜んうをと

るをておぬ出るくー。ヨレ 大子はやう〜。ぬくあさりって
きぐ。兎海さえ元 柴 ぐ。ぬ しをおくなた ト 初 おぐむ兎
ぞのをむうよをめてをてう。させ。そ〜ろよ
ぬうくうぬ。を出くんとをる市へ又こういりの 隣公 伊之さえんがちお
るさうく。こと。こう〜。ぬうぐ人ぐまいりまう〜 図 和兎さえん
ろつちくハ竹田やくめてうくをあ。あくさえんいっておくなた
地アレサそれぐうるるぐさんを。うとうつもおぬなしろうち
ぐさ兎今くのそ。伊之さえんのひうえ。いくよよしておきえ。せう。
おあんーなんをるトむうこいぐ。ぬ。ちいぐうへ
うけてゆ

[illegible]作田やの客[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

伊 今[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ちゃごこのあんぺ。そこぬぬぐづのもくそくぎんをうぐどふも
義理ぎり。ぬるるこもこうぐぎんぎんぬぬこふのぶもきりふーて
おこんやんー 伊 ゥゥゥ

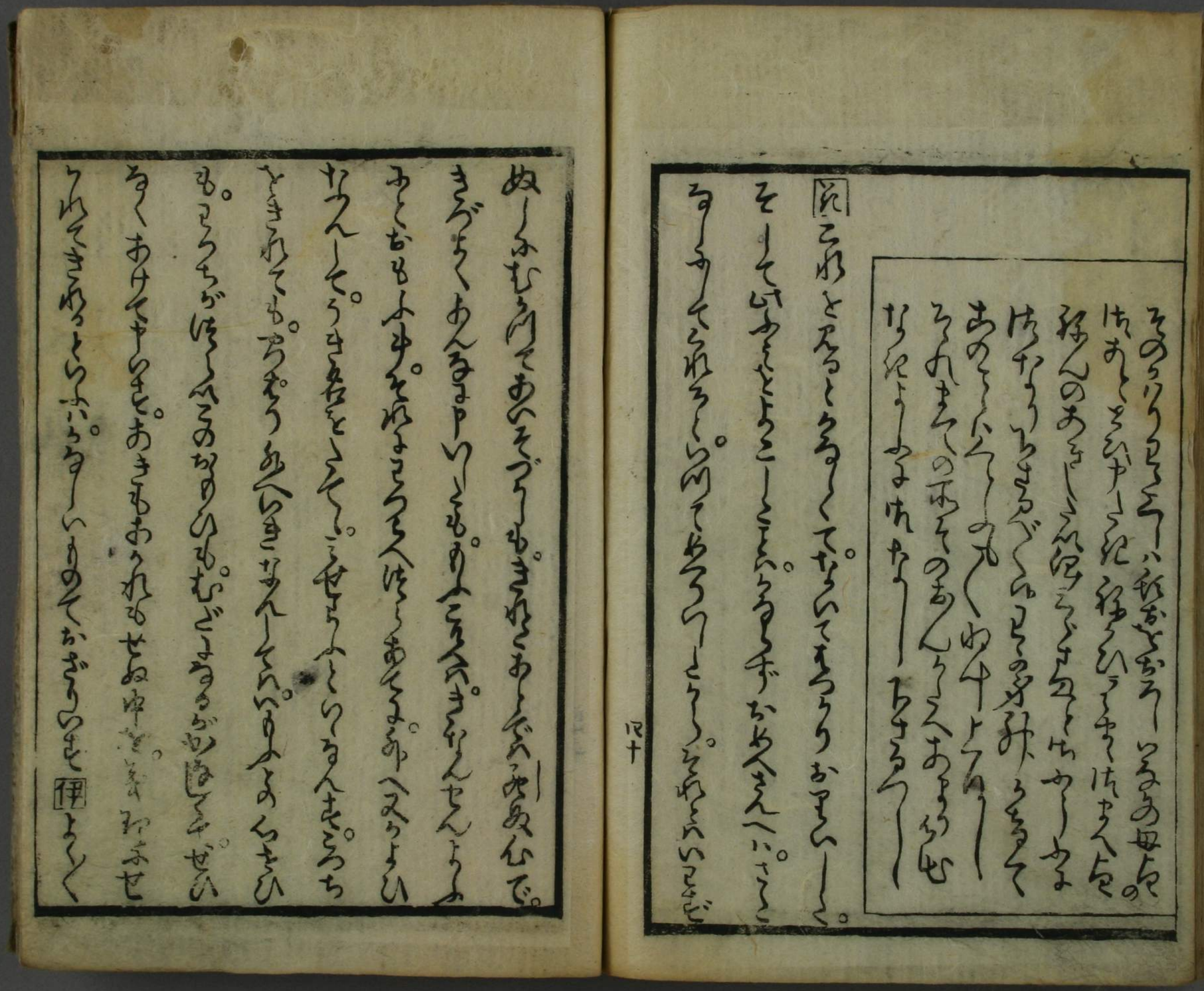
うえでちいせうこう。ぬぐ〳〵ちろ〳〵とはけてやろう。ちく
ちゃうめが　トろろぐろ〳〵り上せ。みべさいけて〳〵ちろ
みろぐ〳〵ろれるぐ〳〵ちるでめぶ。ごろ〳〵ゐるのとろろふ
そでちゐ〳〵あてころろとれ。　伸　こそ〳〵其々〳〵ゆ〳〵ぞんゐ色
いろ〳〵いいちぎいまう。ちちく〳〵
ちとこ　ゐ
男力久今とりちち。ちし孫ども。おれもこ色ぢ〳〵疲労とと
〳〵きちちゐ〳〵ゐぢ。ろ〳〵ぬへの〳〵あて。此所内で
ゐふろきゐと。ふそ〳〵ろ色〳〵トとちげよけ〳〵ぞ〳〵。まろ〳〵
ちちろろ　ゐ　コレおちちなんー　伸　ろぜとゐる　見　ゆ〳〵く
ちぎりて
いふちのくとおりてども。ぬしの今の一云でいろゆぐろ〳〵ぬも

こけへ。これと尺ておろんちなんー　トろぐこぶ〳〵ろのあらぐころ
ふ尺ぬ仕ろろのあるまれ　見　ロちちとと。ちく〳〵せうぐのかんの
といちかれしこが。きとへぬいおゐへ。ぬいゐ。ゐ。ぬよるろてゐ
なのへまちとと。ぬぜころろちちよちろろ〳〵なれしこれとちゐて。
こ〳〵へどんなゆゐれておて。ぬぐれ死ふちるとてもぬ〳〵ふ
ちぐ　ぎり
孔牙いゆ〳〵服毒理。ぬれふまぐろろ〳〵ぬ。ぬ〳〵ぬへ。死
ゐ〳〵ぬ〳〵こゐゐ。おゐ〳〵ぬんいろ〳〵ちんて。お浪が　ゐこで
ちろ〳〵ぐちぐ。今日の義を。ちぐ〳〵ぐちよろしてと

伊

[illegible]

[illegible]



ちりへぺ。ろるちれぐ。ゐ。ゐ。ろ。お。ゑ。ほ。へ。と。ち。り。ぬ。る。を。わ。か。よ。た。れ。そ。つ。ね。な。ら。む。う。ゐ。の。お。く。や。ま。け。ふ。こ。え。て。あ。さ。き。ゆ。め。み。し。ゑ。ひ。も。せ。す。

ぬをとこをるうんめんしや 兄 ちめくさんゆくまぐろんなるいめ
けこひやもいとくんへおぐんせんぐろのようふるすいことふ
なるくとこへろんようゆやもまるのせんモウるちちやあさ
るるけとめもちへせんて。ゆ。ろ。ぬ。ゐ。ぬ。ぬ。ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちつと移よの　ト.引よせられてゆくこころぶそち
こゝろ〻〻こそこゝろめまよひ　見　こゝろ〻〻
おるこぶこゝゆゑ〻しへこんる男と酒たぐこゝぞ。ア.てぎれつ
てくえこゝこゝり　甲　ちれもひよんなこゝこゝ婦さゑふまれ
べよこゝこゝりのを　見　ア.ふてしにこゝちぐの〻　伊　アイタ〻ートちぐる
まこゝぐこゝこゝてこゝしよぎえのこゝこゝやこゝちぐんのちまこゝよまこゝ
見のこゝふこゝり移のゆめこゝや　むきこぶこゝん
ひ牙　ふこゝのこゝ風の吉連こゝのまこゝたるゆる月のゆえも笑て
ゆめのこゝさ行物のゆこゝむゆの大こゝこゝてゆゆる妖怪のこゝ
えこゝのこゝもゆこゝちのひこゝゆ怨ゆこゝてゆこゝこゝ。お酒ぐこゝネゆ
こゝこゝ。こゝけのこゝこゝこゝ執こゝ。変ゆこゝこゝこゝ病のこゝぐこ

こゝぐ死ゆこゝる極りこゝ門と貝こゝゆて死ぐのゆ。ゆこゝこゝ
物ゆて猿殺こゝ。こゝぐこゝこゝいて死こゝゆこゝ人ゆ。ゆこゝこゝ死ゆこゝ
こゝゆこゝ。ゆのぐこゝゆこゝんこゝゆこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝぐこゝ。
こゝぐこゝこゝ病物こゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ。
こゝこゝ。こゝこゝ。こゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ。
こゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ。

伊　コレ〻〻ぞのぐよぐぐこゝこゝトおこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

やせおとろへてみまがほしいまだ今こゝ月のさゝやかちら
ほくようこゝあるものをゆ　そんるゝ。そるこゝも千ら愛と。
あれもあり〳〵おほがまだ。ゑあいさ稀ごみうりう
ちよよおるどゝ愛とんるるうよ。おるこゞ日ゝの性会ゝう。
〳〵じへふこうゞ性会ゝゞゞ。ゞゞゞ

後篇 偐客梅日月 一九著 全一冊 近刻

青楼十燈香之記 同作 同

当時名高き極楽の十二字一彩をめぐり各自家の
發句荘子おらに柳の名をと加くてあらんを附孫子迎舎
戯作の青楼三元手みやげ名高の三元地あると共む

二二二二ブン

一枚新

板上

時代人 口語
世話世後 狂歌
家名同前
世遊 二元

[illegible]